学校だより

2023年６月28日
No.３
射水市立堀岡小学校
校長　池田　亨

梅雨の中でも元気な堀岡っ子

梅雨の最中でも、グラウンドに出て、サッカーや雲梯、鉄棒で遊んでいる子供を多く見かけます。特に、サッカーは、学年関係なく一緒に遊んでいます。また、学校の中でも昼休みだけでなく長休みも低学年と高学年が一緒に遊んだり話をしたり、本を読んだりして関わっている姿をよく見かけます。とてもほほえましく思います。こうした異学年とのつながりが子供たち一人一人のよりよい成長につながると考えます。今後も続いてほしいと願っています。

６月２日（金）学習参観

学習参観は、４月と同じように奇数、偶数学年で２つに分け、時間帯を変えて行いました。子供たちは、４月より落ち着いて先生や友達の話を聞いて積極的に挙手や発言をしていました。また、課題や問題に対しタブレットを積極的に活用したり、ペアやグループになって自分の考えを伝え合ったり、話し合って解決したりする活動を行っていました。今後も子供たちの学びの充実に向けていろいろな活動を行っていきます。

６月２日（金）学校評議員会

この会は、地域や社会に開かれた学校づくりの推進のため、地域や保護者の代表の方から広く意見をお伺いする貴重な機会です。年３回（6月、11月、2月）を予定しています。今年は、本校の教育活動や学校運営の説明の他、来年度から市内全小中学校に設立・運営されるCS（コミュニィティスクール）について、市教育委員会のCS推進委員の稲田先生（前射北中学校長）から設立の意義や役割、今後の予定について説明があり、委員の方からご質問やご意見をいただきました。皆様からいただいた貴重な意見を今後の学校運営に生かしていきます。また、共に子供たちを育てていくためにも、地域の方からもご意見をお聞かせいただければ幸いです。よろしくお願いします。

【射水市教育委員会より５名の方々が学校評議員に委嘱されました】
岩木　隆弘　（堀岡地域振興会会長）　菊　映子（民生児童委員）
村井　美和子（教育関係者・元 PTA 役員）　長谷川　清（前 PTA 会長）
中田　晶士　（PTA 会長）

６月２日（金）引き渡し訓練

今年も昨年と同じように緊急メールを発信し、「密を避ける」ため地区別に時間帯を分け、引き渡し場所も各教室としました。また、入口と出口を分けて一方通行としました。当日は、大きな混乱もなくたくさんの方に参加いただきありがとうございました。災害等に備え誰もが助かるためには、「真剣に取り組む」ことがとても大切です。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

また、６月８日（木）には、全校による避難訓練（火災時）も行いました。子供たちは、合い言葉の「おはしも」（おさない、走らない、しゃべらない、もどらない）を意識し行動していました。本校では地震及び津波時や不審者侵入時の想定を含め、年間４回の避難訓練を計画しています。

６月６日（火）水泳教室始まる

６日（火）より水泳指導を行っています。毎週火曜日に海竜スポーツランドのプールで学年ごとに外部講師と担任で指導しています。今年は、計８回の予定です。水泳学習は水害時に自分の命を守る大切な学習です。ご家庭でも体調管理に気を付け、真剣に学習に参加するよう声をかけてください。

６月16日（金）民生委員・児童委員連絡会

本校の教育活動や学校運営について説明をするとともに、地域の子供の様子について情報交換を行いました。さらに学校評議員会でも話題になっていたCSの設立についての協力をお願いしました。

【今年度お世話になる方々】

大井　進（神明町・古明神第一・第二）	菊　映子（古明神第三、新明神）
江藤　好子（東町）	高木松子（中町、西町、海竜町）
堺　希久子（明神新、西新明神）	立野　洋美（射水町）
立野　勝美（草岡町）	垣内　恵子（主任児童委員）

タブレットの持ち帰り

今月から、タブレットを家庭で使用できるか確認しています。昨年から子供たちがタブレットを家庭に持ち帰り、実際に操作をする機会が増えてきます。学習参観でご覧になられたように低学年から学習の道具として活用しています。保護者の皆様には、昨年同様家庭で使用できるように設定、確認をお願いいたします。具体的には、家庭での Wi-Fi に接続する作業や特設のネットワークに参加できるか、アンケートに答えることができるかです。詳しくは、プリントで配付しています。分からない場合は、担任にお知らせください。ご理解とご協力をお願いいたします。

学校・家庭・地域の連携を

アフターコロナで放課後の子供たちの活動が地域でも活発になりました。それに伴い地域や保護者の方から、不審者の情報や子供たちの自転車の乗り方、遊び方についての情報等心配の声が届いています。学校では、すぐに現場に行って話を伺い、子供たちにも状況を確認しています。特に子供たちの安全・安心（命）に関わることや今後社会生活を営む上で必要なこと（例えば人とのコミュニケーションや公共施設の使用のマナー等）は、直ちに子供たちに指導し、保護者の方にも協力をお願いしています。こうした地域のことは、学校、家庭、地域の継続した連携や協力、見守りが大切です。子供たちは「地域の宝」とよく言われます。学校では、今後も子供たちに寄り添いながら問題の解決に向けて全教職員で対応していきます。ご理解とご協力をお願いいたします。地域やご家庭でのお子さんの様子で気がかりなことがありましたら、いつでもお知らせください。